

提出仕様書番号 HS-B005C

耐火ブランチケーブル
(600V EM-FPT分岐付ケーブル)
仕 様 書

 住友電気産業電線株式会社

Sumitomo Electric Industrial Wire & Cable Inc.

ハーネス技術部

ハーネス技術グループ

1. 適用範囲

この仕様書は、ビル・マンション等の600V以下の回路に使用される分岐付きケーブルについて適用する。

準拠規格および関連規格

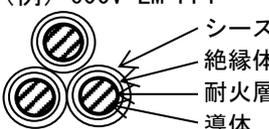
- 1) 日本電線工業会規格 (JCS 4427、JCS 4506)
- 2) 日本産業規格 (JIS)
- 3) 電気設備に関する技術基準を定める省令
- 4) 消防庁告示第10号 (耐火電線の基準)
- 5) 耐火・耐熱電線接続部標準工法 (JCS 4506 附属書)
- 6) その他関係法令および規格

2. 仕様

1) ケーブル

幹線および分岐線の品種、サイズは個別仕様書に添付する系統図に示す通りとし、ケーブルの仕様/規格は以下の通りとする。

幹線および分岐線

ケーブル		仕様/規格
600Vポリエチレン絶縁耐熱ポリエチレンシース耐火ケーブル		・消防庁告示 第10号 ・JCS 4506
構造	線心の識別	
(例) 600V EM-FPT 	線心の相識別はシース表面の色帯識別またはその他適切な方法により識別を施すものとする。ただし、黒相は省略する。	

2) 分岐部

- ・耐火仕様はJCS 4506 附属書『耐火電線接続部標準工法』に準拠し分岐処理する。
なお、モールド被覆には黒色ポリエチレンを使用する。
- ・分岐部モールド表面に施す刻印表示は「SEIWC」とする。

3) 吊り処理部

- ・ケーブルグリップ方式



品名	寸法			最大使用荷重 (kg)	備考
	a	b	c		
特0号	16	37	10	80	低層階用(6階以下) EM-FPT 14~60sq
TAS-18	16	20	7	150	EM-FPT 14sq
TAS-23	16	31	8	200	EM-FPT 22sq
TAS-30	23	42	10	300	EM-FPT 38, 60sq
TAS-40	23	46	11	400	EM-FPT 100, 150sq
TAS-52	29	55	14	600	EM-FPT 200, 250sq
TAS-70	29	59	14	800	EM-FPT 325sq

トリプレック型ケーブル取付寸法			
品名	La	Lo	備考
特0号	500	600	最短取付寸法
TAS-18	600	650	
TAS-23	650	700	
TAS-30	800	850	
TAS-40	1,100	1,150	
TAS-52	1,300	1,350	
TAS-70	1,550	1,600	

4) 接地線の取付

- ・分岐付ケーブルの接地線取付は、幹線に接地線を適切な間隔でテープにより固定し縦添えする。

3. 検査

検査は以下の項目について実施する。

項目	良否判定基準	備考
外観	異常のないこと。	工場内検査
導通	断線がないこと。	工場内検査
耐電圧(空中)	規定の試験電圧に1分間耐えること。	管理試験
絶縁抵抗(空中)	200MΩ自身長以上のこと。	管理試験

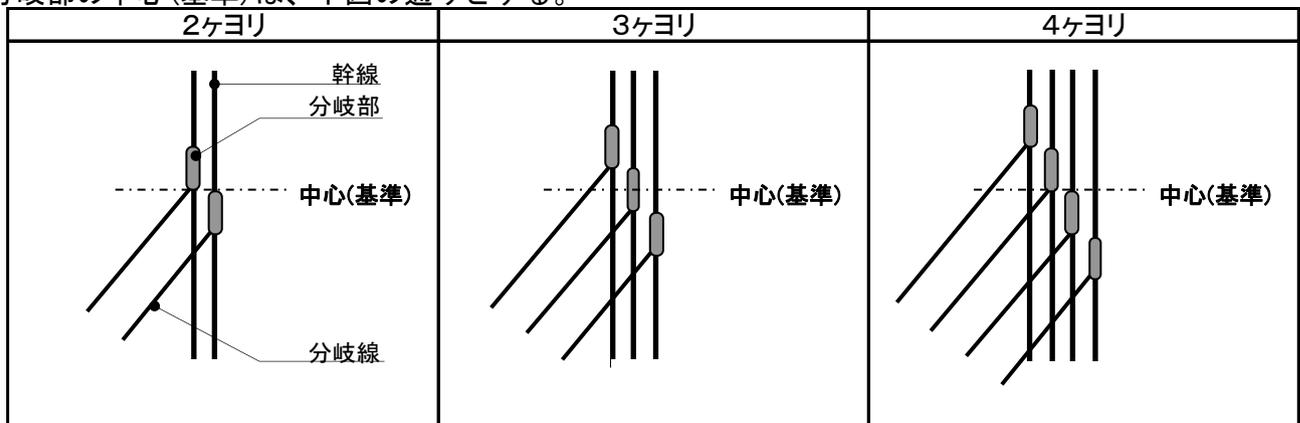
4. 分岐付きケーブル系統図

1) 使用するケーブルの種類・サイズ・長さ・分岐間隔・分岐線の出る方向等は、個別仕様書に添付する系統図に示す。

2) 系統図中に示す記号

記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
	ケーブル グリップ (低・中 層階用)		中間ネット (低・中 層階用)		吊鐘型導体 把持金具 (高層階用)		ジョイント
	1本分岐		2本分岐		3本分岐		4本分岐
	永久端末						

3) 分岐部の中心(基準)は、下図の通りとする。



4) 系統図に示す各寸法は、分岐部の中心間、分岐部の中心からケーブルの端末間までとする。
なお、吊処理を施す場合はケーブルグリップのリングまでとする。

5) 分岐間の数値は、分岐間隔(mm)とする。

5. 荷姿

1) 荷姿はドラム巻またはたば巻とし、ドラム巻の場合は個別仕様書に添付する系統図にドラムサイズを示す。ケーブルの保護はラップ巻き簡易梱包とする。

注意：現場内運搬等でドラムサイズに制限等ある場合はあらかじめご指示ください。
(ドラムサイズの指定がある場合はご指示ください。)

2) 表示

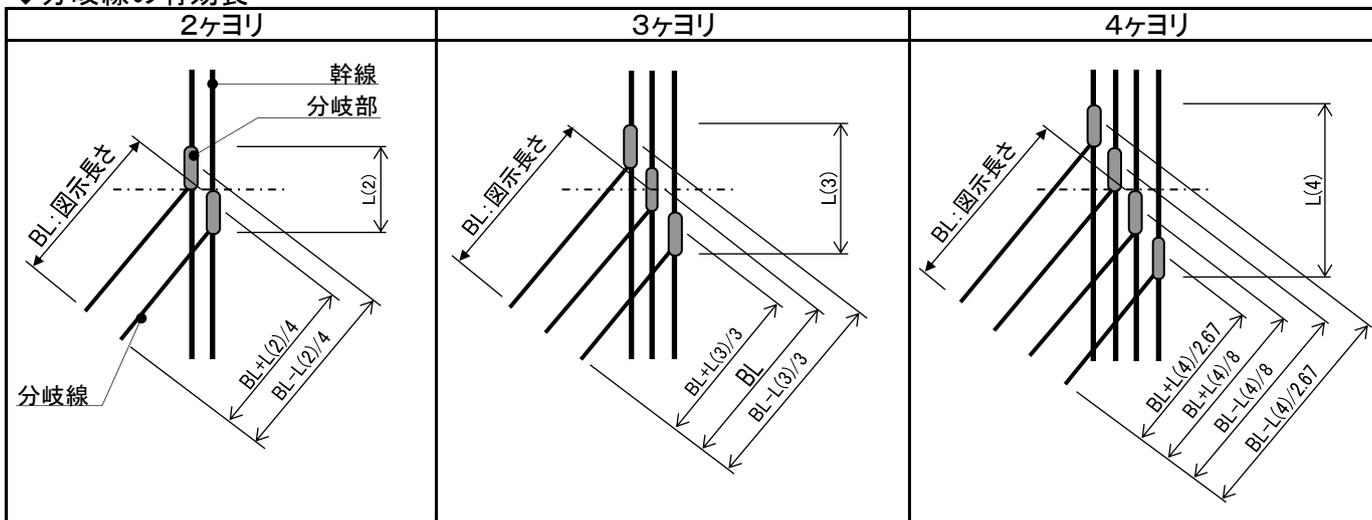
以下の事項をドラム巻きにあつてはドラムの側面、たば巻きにあつては保護ラップ上へ表示する。

- ・ 品名
- ・ 件名
- ・ 幹線番号
- ・ 幹線サイズおよび長さ
- ・ 製造業者またはその略号
- ・ 製造年月

6. 取り扱い上の注意事項

- 1) 分岐付ケーブルの布設にあつてはケーブルおよび分岐部に外傷を与えないよう十分に注意し、布設願います。
- 2) 分岐付ケーブルの長さは個別仕様書に添付する系統図に示す長さに対し、分岐間隔は2%、総長は1%、分岐線長さは1%程度の測長誤差を含みます。したがって分岐付ケーブルの中間支持にあつては、分岐付ケーブル布設後に設置する等の考慮が必要です。
分岐線の有効長は、図示分岐長さのマイナス0.3mとする。(例 図示3m→有効長2.7m)

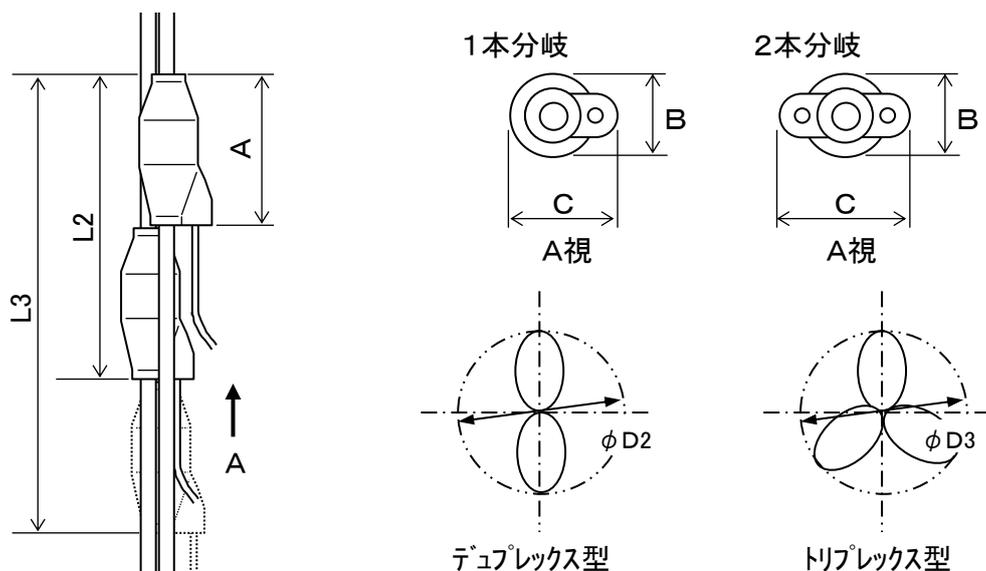
◆分岐線の有効長



- ※1 BLは、図示の分岐線長さとして示します
- ※2 L(2), L(3), L(4)は「付図1」を参照してください
- ※3 分岐線が上向きの場合、各層の有効長の考えが+-反転となります

- 3) 分岐付ケーブルに使用するケーブルは、製造年号が混在する場合があります。
- 4) ケーブルグリップおよび中間ネットは分岐付ケーブルの吊り上げを目的としたもので長期間の吊り留め装置ではありません。
分岐付ケーブルの布設後は速やかに『電気設備に関する技術基準を定める省令』第164条に規定される間隔でケーブルを支持願います。
- 5) EM電線・ケーブルの被覆材料は、ポリエチレンにハロゲンフリー難燃剤（水酸化マグネシウム、水酸化アルミニウムなど）を配合している為、強く擦ると白い跡が残る傾向がありますので、やさしく取扱ってください。また、布設環境（多湿等）によっては、表面が白っぽくなる場合もあります。尚、これらは被覆の表面だけの現象であり、電気特性などに影響はありません。

付図 1 - 1. 分岐部寸法 (耐火ブランチケーブル)

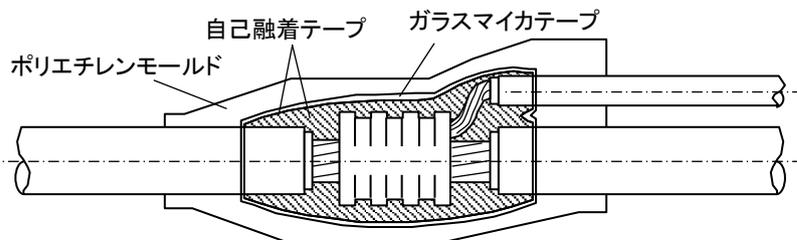


1本分岐

幹線サイズ (mm ²)	分岐線サイズ 本数 (mm ²)	各部の寸法(参考)(mm)						
		A	B	C	2ヶより		3ヶより	
					D2	L2	D3	L3
14~38	5.5~22 × 1	150	40	50	70	300	75	450
38・60	38・60 × 1	150	50	61	85	300	90	450
60~150	5.5~22 × 1	150	45	55	105	300	110	450
100・150	38・60 × 1	150	65	78	110	300	120	450
100・150	100・150 × 1	200	70	90	120	400	135	600
200・250	5.5~60 × 1	150	65	78	140	300	145	450
325	5.5~38 × 1	150	65	78	120	300	155	450
325	60 × 1	200	70	90	145	400	175	600

2本分岐

幹線サイズ (mm ²)	分岐線サイズ 本数 (mm ²)	各部の寸法(参考)(mm)						
		A	B	C	2ヶより		3ヶより	
					D2	L2	D3	L3
14~60	5.5~22 × 2	150	45	60	85	300	90	450
38・60	38・60 × 2	150	50	72	90	300	95	450
100・150	5.5~22 × 2	150	45	60	95	300	105	450
100・150	38・60 × 2	150	65	90	135	300	145	450
100・150	100・150 × 2	200	70	110	135	400	145	600
200・250	5.5~60 × 2	150	65	90	140	300	155	450
325	5.5~38 × 2	150	65	90	150	300	165	450
325	60 × 2	200	70	110	155	400	175	600



【注意事項】

1. スラブ貫通部は分岐部仕上がり外径(φD寸法)にプラス20mm程度の余裕を見込み準備ください。
2. ケーブルの組合せにより、一部寸法が変わる場合があります。
3. 同一幹線内に分岐本数が異なる場合には最多分岐線本数の寸法となります。(サイズが異なる場合はDφの大きい方の寸法となります。)
4. 同一幹線内で分岐線サイズが異なる場合はDφの大きな方の寸法となります。